

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第82号 令和4(2022)年9月9日発行



校内研修サポート報告

当センターでは、学校等からの要請に応じて校内研修等をサポートしています。特に夏休み中は、毎年多くの学校や関係機関から、それぞれの課題に応じた講話や演習等の要請があります。要請に応じて研修内容を検討し、各会場を訪問して研修等を実施しています。



本年度は、複数の小学校等からプログラミング教育に関する研修の要請がありました。各学校には、1人1台端末の導入と、インターネットにつながる環境が整いました。そこで、センターでは主にスクラッチというプログラミングのWebアプリを使った研修を行っています。要請をいただいた小学校等においても「翻訳アプリをつくろう」や「カメラを使った体づくりアプリをつくろう」などの課題を設定し、研修を行いました。受講された先生方からは、「思ったほど難しくなかった」、「やってみると楽しい」、「授業で活用できそう」といった感想をいただきました。

なお、センターWebサイトに、「誰でもできる！！小学校教員のためのプログラミング教育 はじめの一步」のパンフレット及び指導案等を掲載しています。マンガで示した分かりやすい内容となっていますので、ぜひ御活用ください。



【問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)

教育相談特別講座報告

8月8日(月)に、以下の内容でオンラインでの教育相談特別講座を行いました。今年度もたくさんの皆様の御参加をいただき、ありがとうございました。

○基調講演 「コロナ時代における教師の役割」

文教大学教育学部

教 授 会 沢 信彦 氏

○パネルディスカッション「教師と子どものかかわりの実際」

パネリスト：宇都宮市立石井小学校

教 諭 齊藤 友啓 氏

鹿沼市立栗野中学校

教 諭 和賀井 裕子 氏

県立那須高等学校

養護教諭 加藤 明美 氏

指導助言者：文教大学教育学部

教 授 会 沢 信彦 氏



＜参加した先生方の声＞

- ・教師が上機嫌でいることが子どもの安心感や教師への信頼につながることを確認できた。
- ・主体性を育む土台は授業の安心感にある、ということを二学期からの授業に生かしたい。
- ・子どもたちや同僚の良さや強みを沢山見つけられる教員となれるよう努力していきたい。
- ・基調講演やパネルディスカッションを通して、自身や自校の課題に気付くことができた。

【問合せ先】 教育相談部 (TEL 028-665-7211)